

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イルカ児童園（板橋区役所前教室）		
○保護者評価実施期間	令和6年12月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和6年12月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心・楽しみに通園してくれているなど子どもの満足度が高い点や子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている所	子どもの目線にたち、気持ちに寄り添う様に対応しているしている。 また、手厚く療育を行えるように職員の人数も多く配置できるように工夫している。	保護者の方にも安心してもらえるように、ドアの窓で療育の様子を見学してもらい機会や、写真を通して日常の様子を見てもらい機会を作っていきたい。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている点と「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がきちんとしてされている点	職員間での子どものFB時間を十分とり、子どもや保護者のニーズや課題の共通理解を深めている。計画の支援内容など時間を取ってわかりやすい言葉で伝えるように務めている。	計画と療育内容があっているかの説明が不十分なところがあるので、なぜその療育内容なのかをFBしていく。 また、発達段階などを一目でわかるように表などを作り掲示していきたい。
3	環境・体制について	子どもたちが安心して過ごせるように、玩具や道具の位置を工夫している。 また、子どもが自分の荷物の出し入れがしやすいように、高さや場所などを工夫している。	広く体を動かしたり遊ぶスペースはあるので、子どもが安心して落ち着くことが出来るクールダウンスペースを作っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	まだ、創立して年数が浅いため地域交流が少ない点、行っても個々へのFBのみで全体へのお知らせはしていなかった。	今後、行う予定がある時・行った場合は全体へ知らせるために掲示やホームページなど発信していく。 また、積極的に地域でどんなことをしているかを発信していく。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を配信されているかわからない。	配信しているが、保護者の方に伝えることをあまりやっていた。行事の予定も決定が遅く間際になり保護者の方にご迷惑をおかけしてしまっていた。	行事予定は、年間行事予定表を作成し配布・掲示していく。 また、その他のツールを更新した際には掲示をして積極的に知らせていく
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているが、反省点や子どもの様子などが知りたい。	行った結果は伝えていたが、流れなどや全体の反省点は職員同士で共有し保護者には伝えていなかった。	避難訓練の報告の書類を作り、全体で観覧できるようにし保護者にも防災意識を持ってもらえるようにしていく。